

田上本町
田上町
田上1丁目
田上2丁目
田上新町
田上公町

田上桜並木
田上の里

太陽が丘・ひまわり
・あおぞら
・そよかぜ
・ゆうひみ

上若松町
若松町
若松町兼六台
若松町東
若松町第3
若松町1丁目
若松町2丁目

たがみ
公民館だより

若松町

旭町・上中下

下中島
旭日会

もつり

若谷町

角間新町

第91号

平成23年10月31日

編集・発刊 田上公民館広報視聴覚部

<http://tagamihome.blog61.fc2.com/>

トレッキング



乗鞍岳 トレッキングに
参加して 広報部 村田 修二

今回、初めての参加となりました夏のトレッキング、めざすは乗鞍岳山頂「剣ヶ峰」3,026mです。7月31日

(日)朝、集合時間5時50分の10分前にバスに到着。バス内はすでに行き気満々の皆様でほとんどの人が座席に待っていてビックリしました。天気も良好いざ出発。高速も降り、トイレ休憩をすませ高山市内へ入ると、突然スコールの様な雨・ちよと不安その後、山を登るにつれ、天気も回復しバスは標高2,702mの畳平(たたみだら)駐車場の到着しました。全員で恒例の集合写真を撮り、弁当を背負ってさあ頂上をめざそう・・・



途中、山々の眺めと傍らの高山植物に出会う。そして石ころばかりの中腹へ進むとまたまた雨が一行を襲って来ました。「同ずぶぬれ・・・何にも見えない頂上でしたが満足、満足でパチリと写真に納まるのでした。中腹に戻り、弁当を食べ、駐車場でおの休憩を取り乗鞍を後にしました。高山市内に入り、高山らーめんの工場で試食休憩があり、お土産も買わされたのかな?お腹もころも満足した日でした。バスの皆さん、運転手さん、ガイドさんお世話になりました。役員の皆様、大変お疲れ様でした。来年もぜひ参加させて下さい。ありがとうございました。



糠ニシンの講習会

文・いきいき社会部 河合雄二



「こんにしん」懐かしい響きですね。正しくは「こぬかにしん」でしょうか。ご飯のおかずとして、あるいはお酒の横にあれば至福の味が味わえます。

今回、公民館の主催で「糠ニシン」の講習会を開催しました。3月6日に大桑の田中さんに講師をお願いし、20名の参加者と共に公民館の2階で漬け込みの体験です。参加者の多くは、主婦をしてベテランの域にある方々で、御主人の事を思いつての参加でしょうか。あるいは、昔懐かしい味を思い出したのでしょうか。

初めに、糠に調味料を混ぜて、味の調整と旨みを加えていきます。旨みを出す為に、麴(こうじ)をたくさん入れました。ニシンは「身欠きニシン」です。漬け込みは、20kg用の桶を使いました。ニシンを並べ、糠をかけて包み込む。ニシンは見ると間に桶の中に消えて行きました。醤油を上から注ぎ、染み込んで行けば出来上がりです。10月に秋の風が吹く頃、美味しい「こんにしん」に成長して私達を楽しませてくれることでしょう。



田上地区の防災について 考えてみましょう！

平成二十三年三月十一日午後二時四十六分、宮城県沖を震源とした東日本大震災が起きました。わが国における観測史上最大のマグニチュード9.0を記録したこの地震と津波による死者は二万五千人を超え、地震の揺れ自体の被害も大きいものでしたが、それよりも津波の被害が甚大でした。もし、防災意識をもつて安全な避難場所や避難経路をあらかじめ決めて、非難訓練を行っていたら、多くの方々の命を落とすことは無かったのかもしれない。私達は、この震災で亡くなられた方々を無駄にしてはならないと思います。この震災から得た多くの教訓を生かすために、災害が起きたときのために田上地区の避難場所や避難経路について、今一度考えてみましょう。

田上地区全体の防災意識を高めるために、精力的に町内の災害対策に取り組んでいる田上新町を紹介します。

田上新町では、平成八年に田上新町地内で起きた地滑り災害。平成二十年に起きた浅野川の氾濫を教訓として、土砂災害・大規模地震および火災や水害など、その他の災害発生時に町会全体の財産および生命・身体を守るため、さらに災害による救護活動・被害の軽減を図るために、田上新町防災会を結成し、災害対策マニュアルをまとめています。



田上小学校 076-221-3353
田上町南46

杜の里小学校 076-222-1150
若松町3-282

田上公民館 076-261-1331
田上町14街区4

兼六中学校 076-263-2458
田井町12-12

災害時の緊急通報はあわてず落ち着いて

緊急ダイヤル 消防 119 番

警察 110 番

災害時の安否確認は

災害伝言ダイヤル 171 番 (NTT)

災害用伝言板サービス (携帯電話各社)

NTTドコモ iモード au EZ-web Softbank Yahoo!ケータイ

大切なことは一人一人が、防災意識を持って突然の災害から自分や家族の身を守ることが必要だと考えます。自分の身の安全を守るのは本人であり、子供の身を守るのは親の責任であると思います。この機会に家族で避難場所や避難経路を確認しておくことで、防災意識を高めることが必要だと考えます。

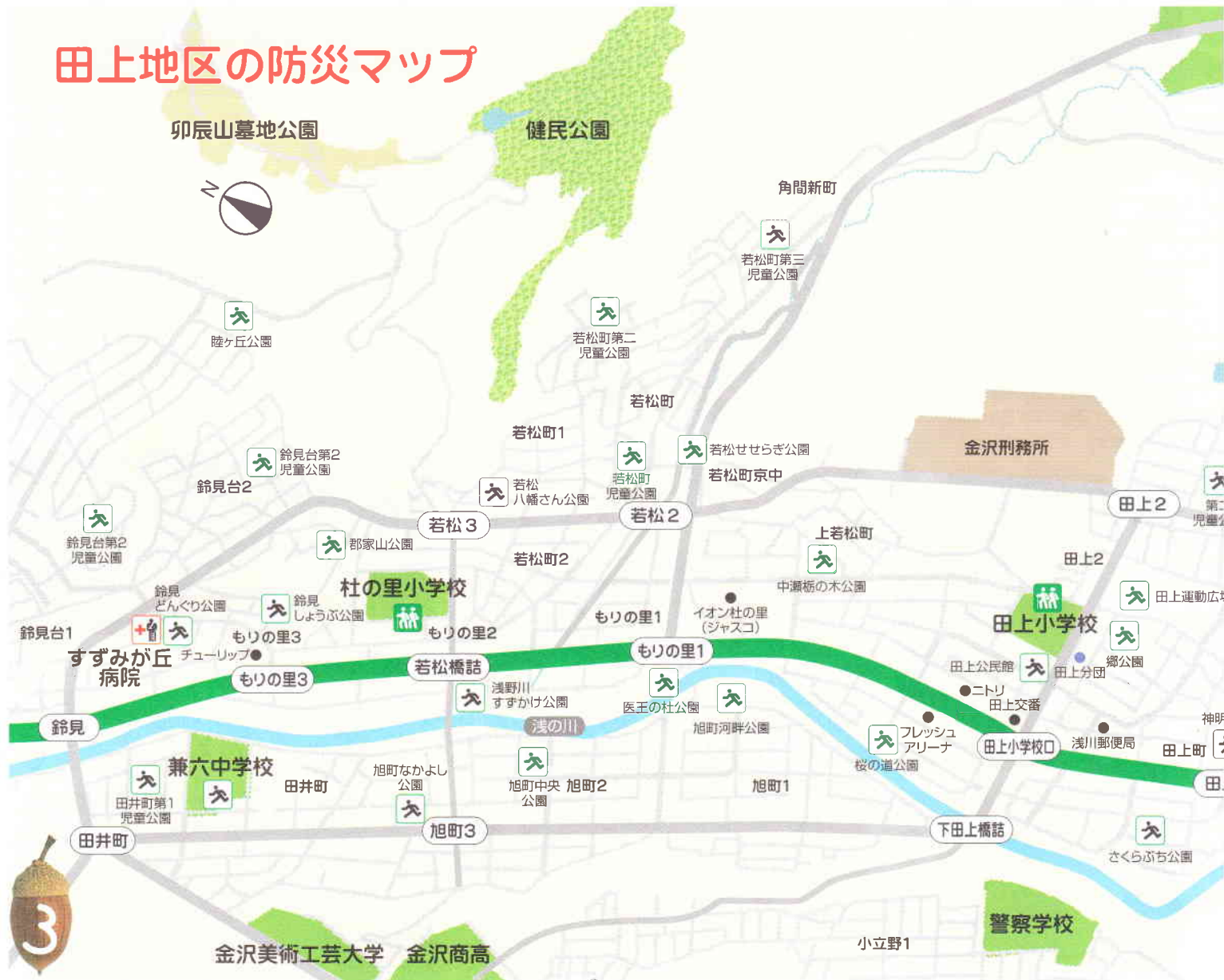
文・広報部 深田 宰史



ここで紹介した町会以外にも、防災対策を強化している町会があるかもしれませんが、町会ごとの災害に対する認識に温度差があることは事実でもあります。

マニュアルでは、大規模災害が発生したときの対応方法を細かくまとめており、対策本部の設置と各班の班長を、総務・連絡班・情報班・防災班・救出・救護班・避難・誘導班・生活・調達班・衛生救護班・災害時要援護者班・安全点検班および清掃班にそれぞれ割り当てた役割分担を行い、自主防災組織としての役割分担を明確にしています。

田上地区の防災マップ





社会体育大会

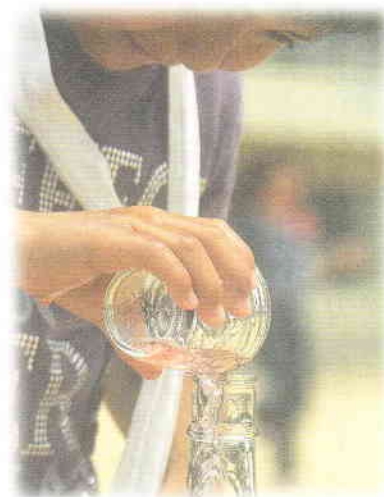


文・赤井 功児

当初予定していた5月29日は降り続く雨のため、前日のうちに中止が決定しましたが、翌週の6月5日に無事開催することができました。それでも時折強い風が吹くなど、不安定な空模様のなか、大会はスタートしました。

2連覇を目指す田上1丁目2丁目チームを中心に全7チームによる白熱した戦いが繰り広げられ、前半戦を終えた段階で上位5チームが40点差の中にひしめき合うという例年にない大接戦となりました。午後の競技も接戦が続き、最終競技である小学生対抗リレー・大人対抗リレーを残し、上位5チームに優勝の可能性があるなか、小学生対抗リレーで4位、大人対抗リレーで1位と安定した成績を残した田上1丁目2丁目チームがみごと逆転で2連覇を達成しました。

日頃の運動不足を解消できたほか、競い合う気持ちも久しぶりに感じることができたと思います。また、住民同士の交流を深めることができ、大変良い社会体育大会になったのではないのでしょうか。筋肉痛になった方や真つ黒に日焼けをした方もいらつしやると思います。それぞれのいろいろな想い出を残し、大会は無事終了致しました。大会に参加して頂きました住民の皆様、本当にありがとうございます。

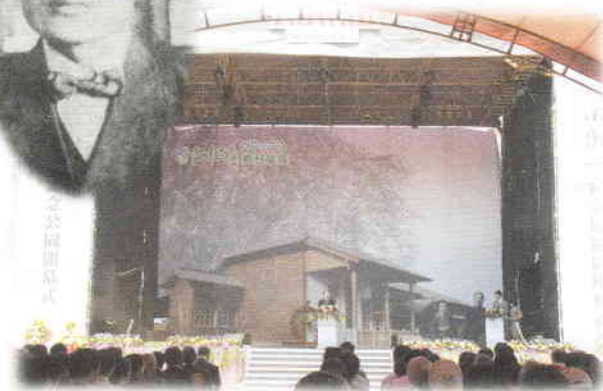


平成23年度社会体育大会成績

優勝	
田上1丁目 2丁目	
連優勝	3位
田上新町 公町	田上本町 朝霧台



八田與一は1886年、金沢市に生まれ、東大・土木工学を卒業後、24歳の時(1910年)に台湾総督府内務局土木課の技手としてつとめた。当時アジアといわれた烏山頭ダムと1万6000キロにおよぶ灌漑用水路の建設(1920年着工10年を要した大規模土木事業)にあたり、人情味のある現場責任者として農民に慕われた。56歳で亡くなるまでほぼ全生涯を台湾に住み、台湾のために尽くした。



田上公民館30周年記念事業

「八田技師を訪ねる台湾視察研修」を終えて

館長 関戸 正彦

本年は、田上公民館にとって30周年の記念の年となります。

昨年から記念事業検討委員会を設置し本市の偉人・八田技師を台湾に訪ねる視察研修会など幾つかの事業について検討を重ねてきました。そして、記念事業第一弾として、5月の八田技師墓前祭と記念公園・技師宿舍復元竣工に併せ、5月6日から9日の3泊4日の視察研修会を実施しました。

事前研修会では、台湾からの留学生の参加も頂いて中川相談役による研修会も開催した他、台湾や八田技師に関わる資料等の配布も行い、3月の視察研修説明会では、全員が台湾通・八田通のごとく、視察研修の気運は盛り上がりしました。

6日の出発や7日の台南市までの新幹線では、今回の視察研修にあたって貴重なアドバイス等を頂きました八田技師夫妻を慕い台湾と友好の会・中川外司氏(田上公民館前館長・相談役)の団体と一緒になり心強い安心一杯の視察研修となりました。また、中川氏には、休館日にも関わらず「奇美博物館」の拝見と交流夕食会への招待、八田記念公園竣工式における視察チーム席の確保など温かいご配慮も頂き参加者一同感激で一杯となりました。

公民館の海外視察研修は、平成8年の台湾・シンガポール視察研修について2回目ではありますが、30周年の節目に、崎浦公民館から金田館長他3名の参加者を含め25名で、故郷の偉人を訪ね顕彰することができ、思い出に残る研修となりました。皆さんのご協力に感謝申し上げます。

おめでとうございます

第3回田上町会連合会 公民館合同グランドゴルフ大会



9月25日(日)素晴らしい秋晴れの下、戸室スポーツ広場で、13町会・公民館チームで団体戦・個人戦が開催され、下記の個人とチームが入賞されました。おめでとうございます。次回は、もっとたくさんの町会の皆さんが参加され、大会を盛り上げていただきたいと思います。また、大会の準備、お世話をして下さいました公民館委員の皆さんご苦労様でした。

団体の部

優勝	田上本町町会	370点
準優勝	旭町上町会	372点
第3位	さくら並木町会	390点

個人の部

優勝	板谷 睦卓	旭町中町会 81点
準優勝	中山 栄蔵	旭町上町会 83点
第3位	奥村 武	太陽が丘ひまわり町会 87点



震災から半年余りが過ぎましたが、まだまだ復興事業は 続きそうです。部員も一部入れ替わりはありましたが、新部員の意見を取り入れながら、館報第91号を発刊することが出来ました。これからも地域の皆様の館報づくりを心掛けていきます。ご協力をお願いいたします。

Vol.91 発行日/平成23年10月31日
発行人/広報視聴覚部

部長	三浦 清宏
委員	村田 修二
	村田 栄美子
	深田 幸史
	中村 比砂子
	折池 寿文
	赤井 功児
	小田 渉子
特別編集員	彦坂 哲郎

ご意見・ご感想・ご希望を
お聞かせください。

下記FAXまでお寄せください。

Kanazawa Tagami Community Center
〒920-1151 金沢市田上町14街区4



http://tagamihome.blog61.fc2.com/

もう一度行けたら、時間をかけて見てみたいと思っていますが、これから先、八田技師の功績と偉大さを、子供達、孫達に郷土の偉人として伝えていくのが私達の役目と再認識させられた研修でした。

業に携わってきたものとして烏山頭ダムの広大さ、美しさ、強さを目にしたことです。「百聞は一見に如かず」でした。もう一つは、八田技師宿舍復元に家具等を寄贈された方々の名前が刻まれたプレートの中に、田上地区の名前があり異国の地でありながら身近な思いをしたことなどです。また、これまで、八田技師の功績を取り上げ尽力されてきた中川前館長の思いに接することができたことです。



感動深い台湾視察研修

視察研修団団長 板谷睦卓

台湾へは何度か観光を含め訪問したことがありますが、我が金沢の偉人・八田技師の墓前祭と記念公園・技師宿舍復元竣工に併せて参加でき、チーム団長の任まで頂き感動と記憶に残る視察研修となりました。

感動の二つは、馬總統をはじめ国を挙げての記念式典で八田技師の偉大さを改めて感じたことです。二つには、土建



八田技師を訪ねる 台湾視察研修参加記

細川 幸恵

田上公民館30周年記念台湾視察研修に25名の皆さんと一緒に参加しました。

満々と水を湛えたダム、真つ直ぐに延びた堤防の長さ、と高さ、縦横にめぐる用水路、不毛に近い嘉南大地を有数の穀倉地帯に変えた実績に対する台湾の人々の

八田技師と日本に寄せる熱い思いを知り、肌で日台友好を実感した旅でした。また、馬總統・賴台南市長・農田水利会長をはじめ、墓前祭に集まった大勢の老若男女の手にしっかりと握られていた献花の白い菊、御供え物に、人々の八田技師への畏敬の気持ち伝わってきました。

30度を越す暑さの中で、植えられた稲は青々と伸び一面に広がる緑の田からは、爽やかな風が流れていました。金沢人として少し誇らしく思い、この先小さな小さな懸橋として、孫達世代に伝える事が役目との思いを強くし帰宅いたしました。



日本語ガイド・李さんに 教えて頂きました...

上木 恵子

夫婦そろって参加させて頂き、大変思い出に残る視察研修会でした。今、いろいろな思いが巡ってきますが、郷土の偉人・八田技師を再認識し郷土の誇りを感じています。そのことは、日本語に流暢な李ガイドさんから、台湾では「小学校四年生の教科書に八田技師が出ている」と教えられ、李さんの息子さんも勉強していたと語られたことです。

視察では、大変な勉強と見学をいたしましたが、このガイドを引き受けた李さんのお陰で素晴らしい旅となりました。吉本興業の台北支店長と揶揄されるほどユニモアと落ちて、旅の間、車中に笑いが絶えませんでした。また、李さんは大変な勉強家で、故宮博物館見学の二時間強、博物館内を縦横無尽に案内され、豊富な知識で私達に充実感を与えてくれました。さらに、台南市と八田技師に関しても、勉強のあとが何え尊敬の念を持って案内頂いたことが今でも記録に残る思い出です。皆さんと一緒に旅できましたことに感謝申し上げます。